

保護者編

2012/1/7 ベネッセ次世代育成研究所 高岡純子

TEL 03-5320-1229

takaoka@mail.benesse.co.jp

● 調査概要 ●

福井県調査

首都圏調査

名称	幼児教育に関するアンケート	第4回 幼児の生活アンケート
調査対象	<u>0～5歳児の保護者</u>	<u>0歳6か月～6歳児(就学前)の保護者</u>
調査地域	福井県	首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)
有効回答数	<ul style="list-style-type: none"> ・3,000人 ・0歳～5歳 各500人 	<ul style="list-style-type: none"> ・3,522人 0歳 322人、1歳 552人、 2歳 492人、3歳 547人、 4歳 579人、5歳 508人、6歳 522人
調査時期	2011年10月	第4回 2010年3月 (第1回 1995年2月、第2回 2000年2月、 第3回 2005年3月)
調査方法	郵送法(県政マーケティング調査)	郵送法

※全国調査の詳しいレポートは、ベネッセ次世代育成研究所のホームページからご覧ください。

<http://www.benesse.co.jp/jisedaikin/>

●幼児の生活・15年間で見られる傾向●

～首都圏調査結果より～

①層の変化

- ・保育園児の増加 ⇒女性の就業率の増加
- ・女性の4大卒の増加⇒女子の大学進学期待の増加

②経済的困難の影響

- ・教育費の減少
- ・習い事の割合の減少⇒特に低年齢児に顕著に出ている

③幼児の生活の健全化

- ・15年間で最も早寝早起きの傾向
- ・ちゃんとしつける傾向
- ・多様な遊び

④保育の長時間化

- ・長時間化による親子の負担の増加

●福井県と首都圏調査の結果まとめ●

首都圏よりも、家族全員で子育てに関わっている傾向が見られる。

⇒ 父親の子育てへの関わり

母親が家を空けたときに子どもの面倒を見る人の割合
園からの帰宅時刻が首都圏に比べて早い傾向

幼児の生活

- ・保育園児が約6割を占めており、在園時間が全体的に長めである。
- ・平日の遊び相手は、母親が最も多く、次いで兄弟姉妹、祖母である。
- ・保護者が家をあけたときに面倒を見る人がいる割合は86%。祖父母、配偶者が多い。

子育て意識

- ・「親子のふれあい」、「基本的な生活習慣」、「他者への思いやりを持つこと」が高い。
一方、「外国語を学ぶこと」、「芸術的な才能を伸ばすこと」が低い。
- ・将来子どもにどのような人になってほしいかでは、「自分の家族を大切にする人」、「友人を大切にする人」、「他人に迷惑をかけない人」が高い。

園への要望

- ・「家族が病気の時の預かり」への要望は約7割、「子どもが病気の時の預かり」約4割。
- ・園生活を充実させるために重要なことは「担任の先生の指導」「園児同士の交流」「カリキュラムの充実」。

●家を出る時間・帰宅時間

(%)

保育所・幼稚園等に通園するために外出する時刻



保育所・幼稚園等から帰宅する時刻



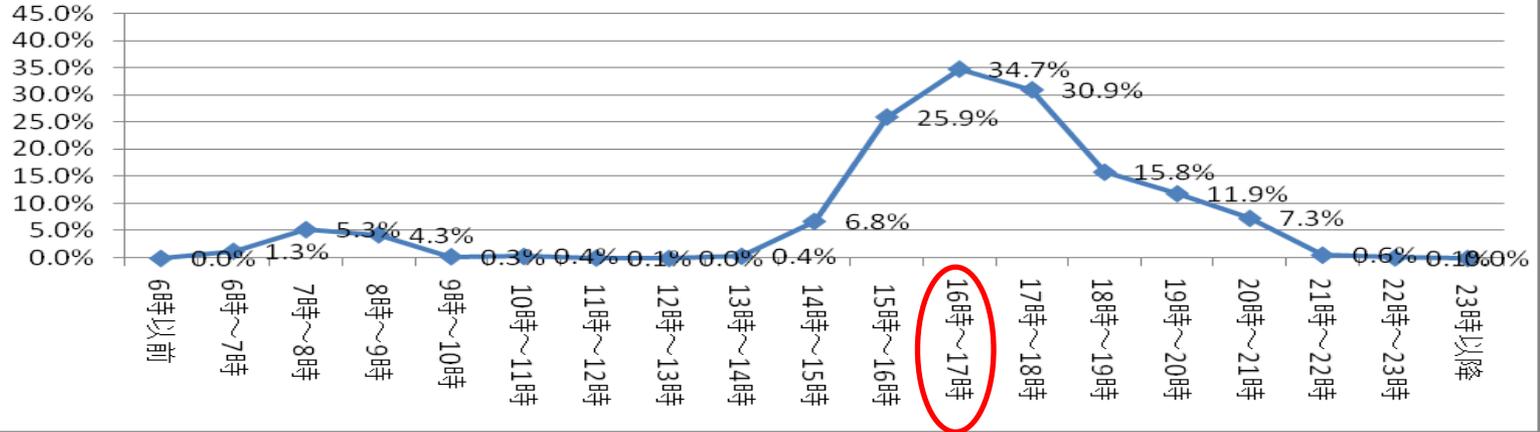
出典：福井県調査

家出る時間と帰宅時間をたずねた。朝は8時～8時30分が多く、帰宅時間は16時～17時が多い。保育園児が6割を占めることから在園時間が長い子どもが多いと思われる。

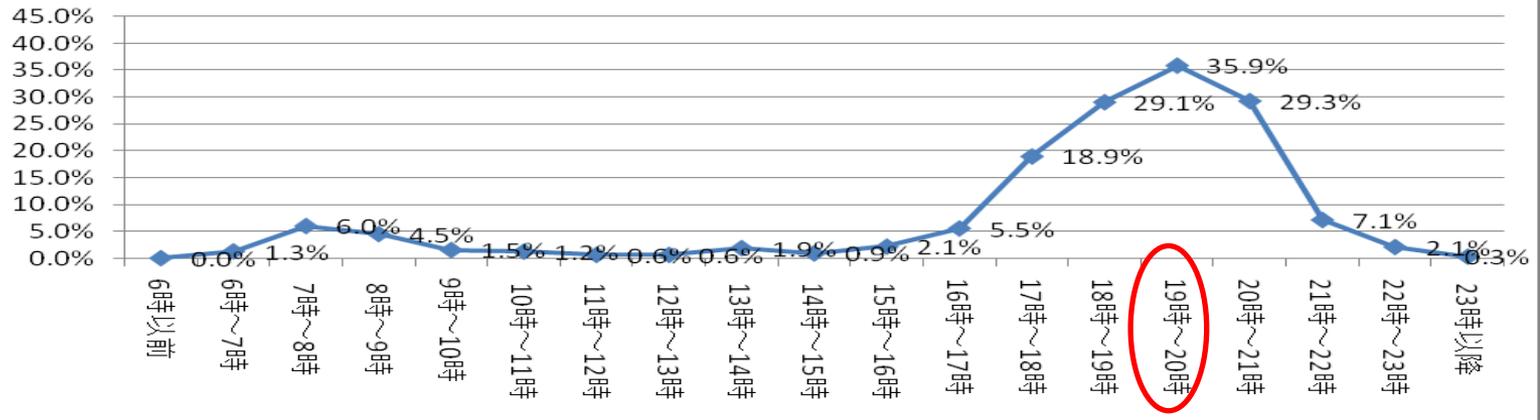
参考

高年齢=4歳~6歳11か月

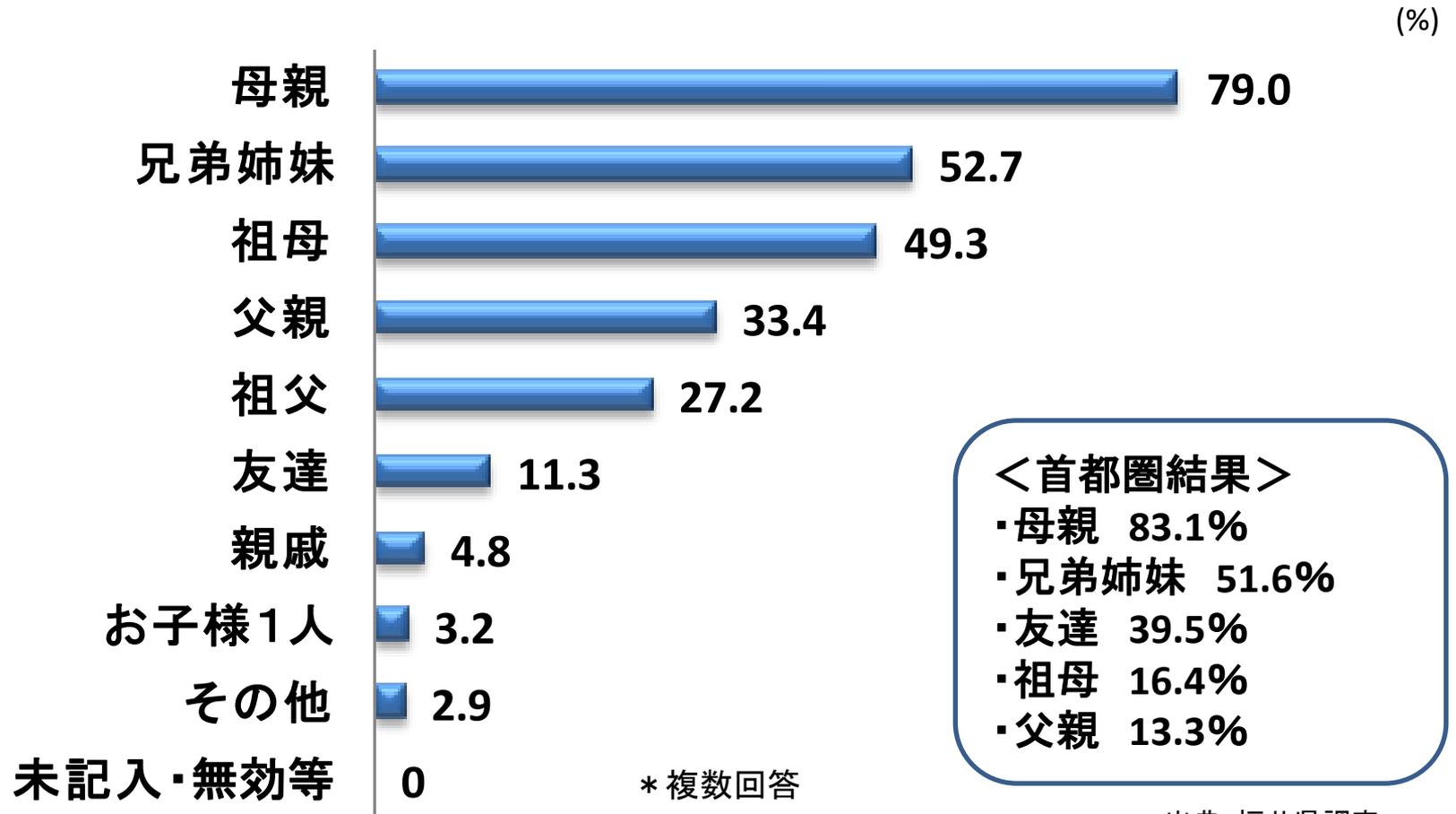
高年齢・幼稚園・ビデオ



高年齢・保育園・ビデオ



● 平日の遊び相手について(保育所、幼稚園以外)

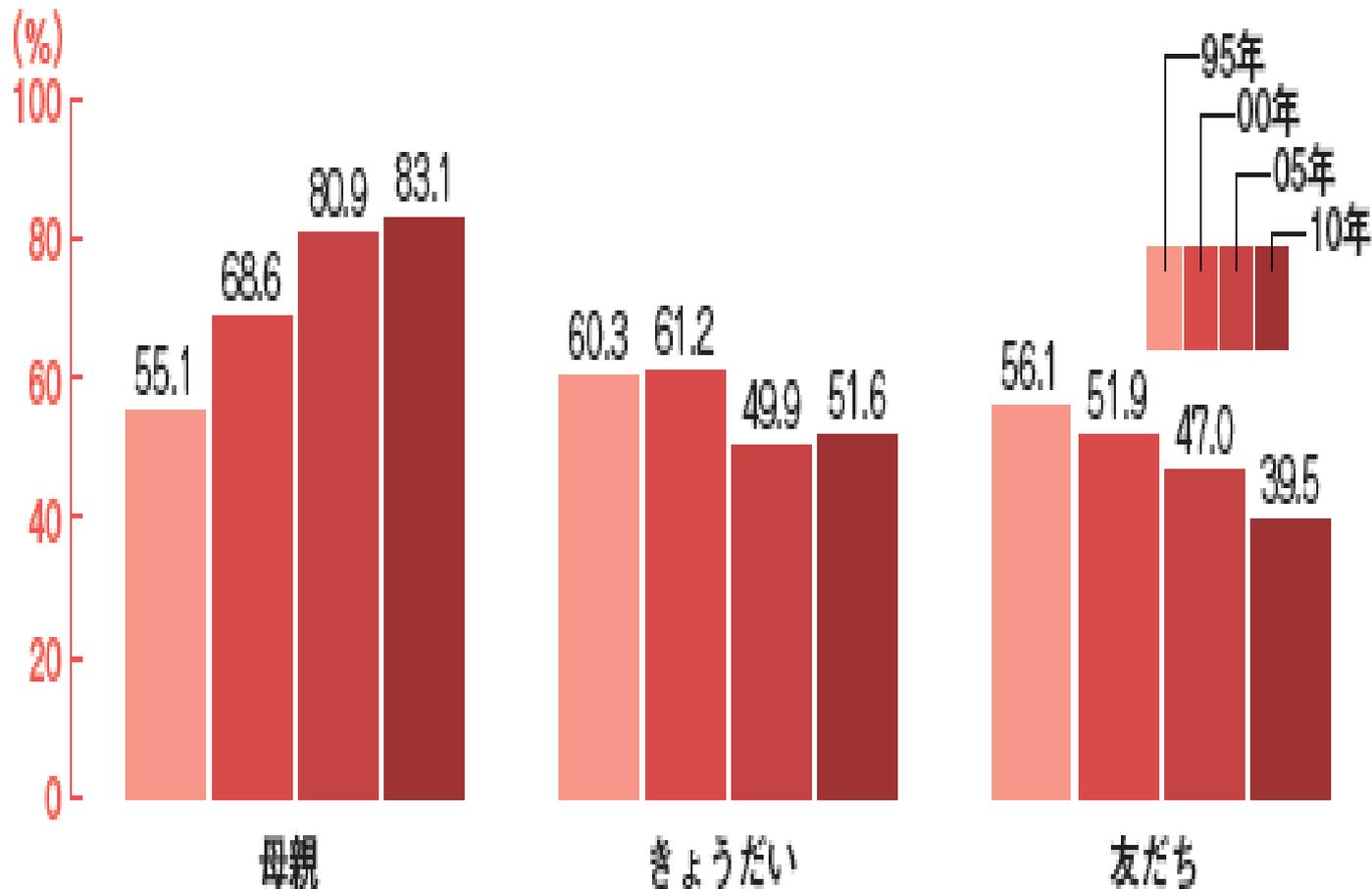


出典: 福井県調査

平日の遊び相手は、母親が最も多く、次いで兄弟姉妹、祖母の順である。保育園児は、帰宅時間が遅いため、降園後に友達と遊ぶ時間が短いため、家族と遊ぶ時間が長くなると思われる。

参考

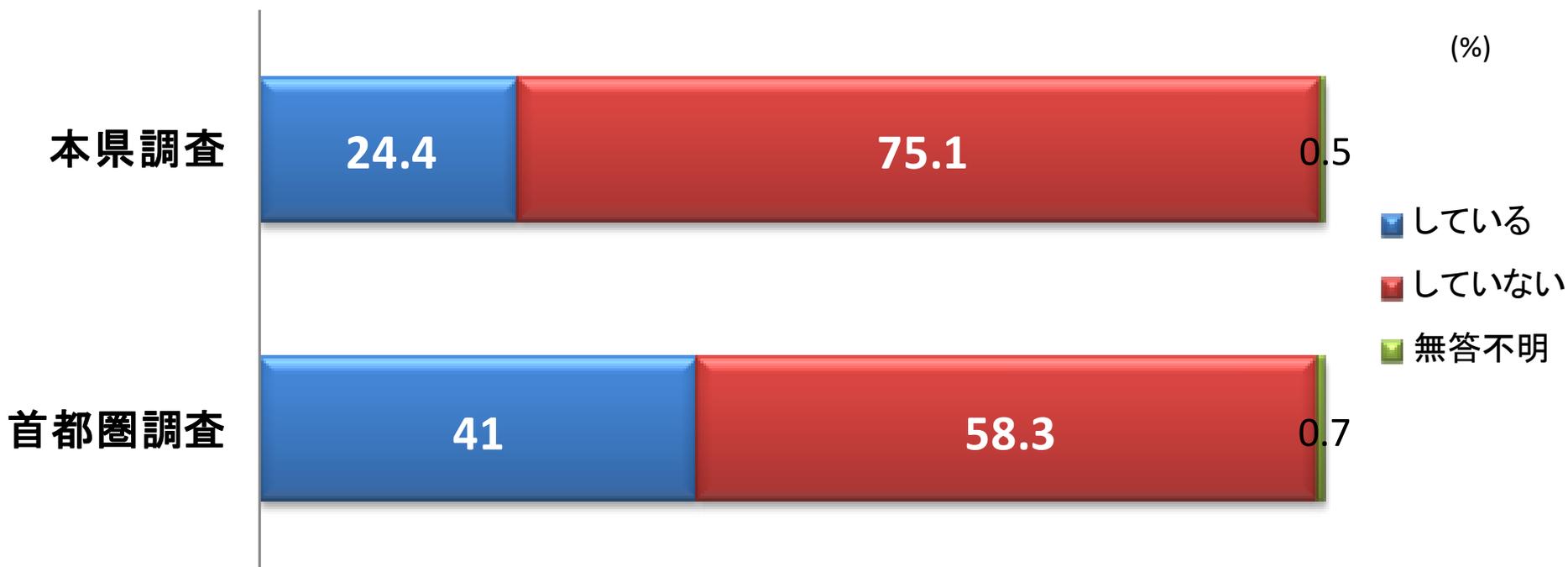
一緒に遊ぶ人(経年比較)



※複数回答。 ※「その他」を含む9項目の中から、上位3項目を図示。

出典：第4回幼児の生活アンケート

●お子さまは、現在、おけいこごとをしていますか

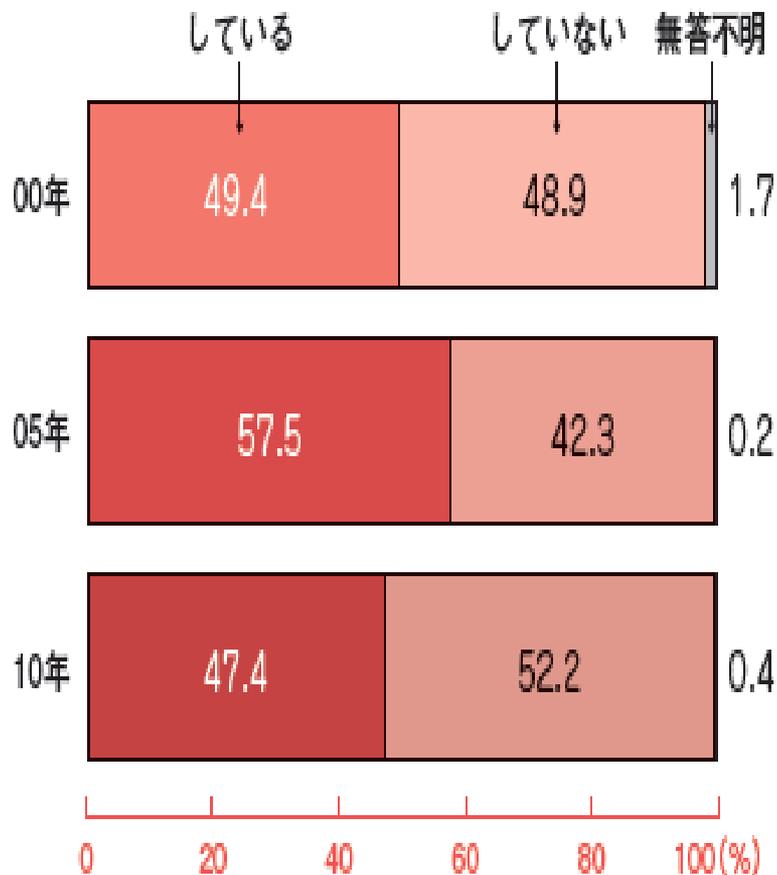


出典：福井県調査

園以外でのおけいこごとをしているのは、約4人にひとりである。首都圏では幼稚園比率が高く、習い事をしている割合も幼稚園児のほうが高い。

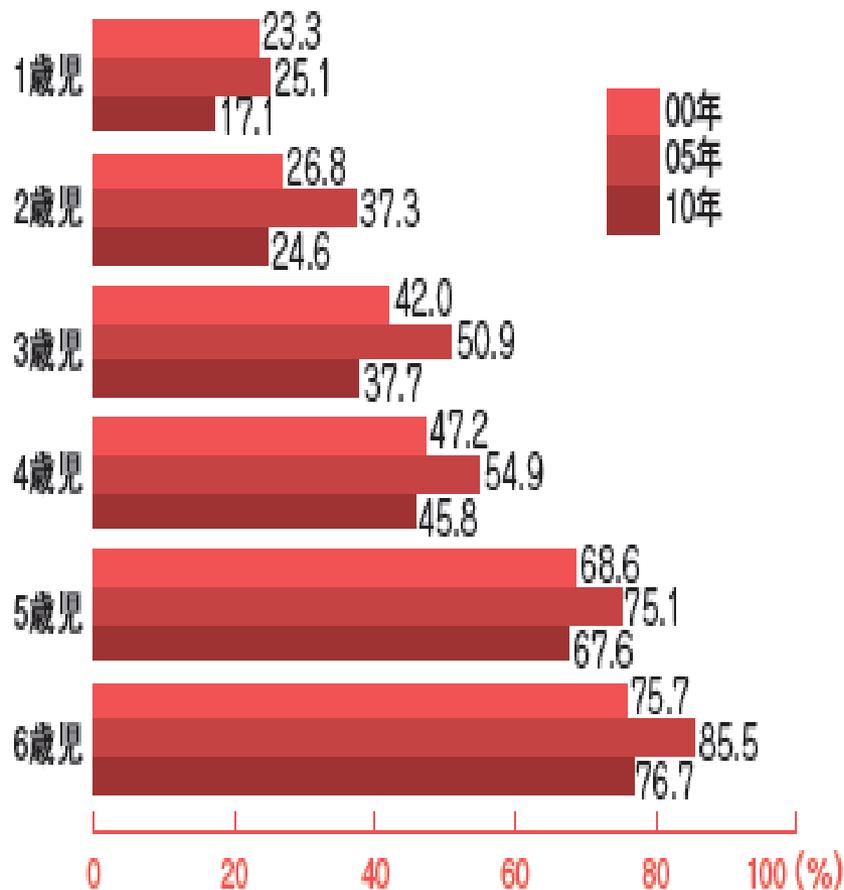
参考

1 習い事をしている比率(経年比較)



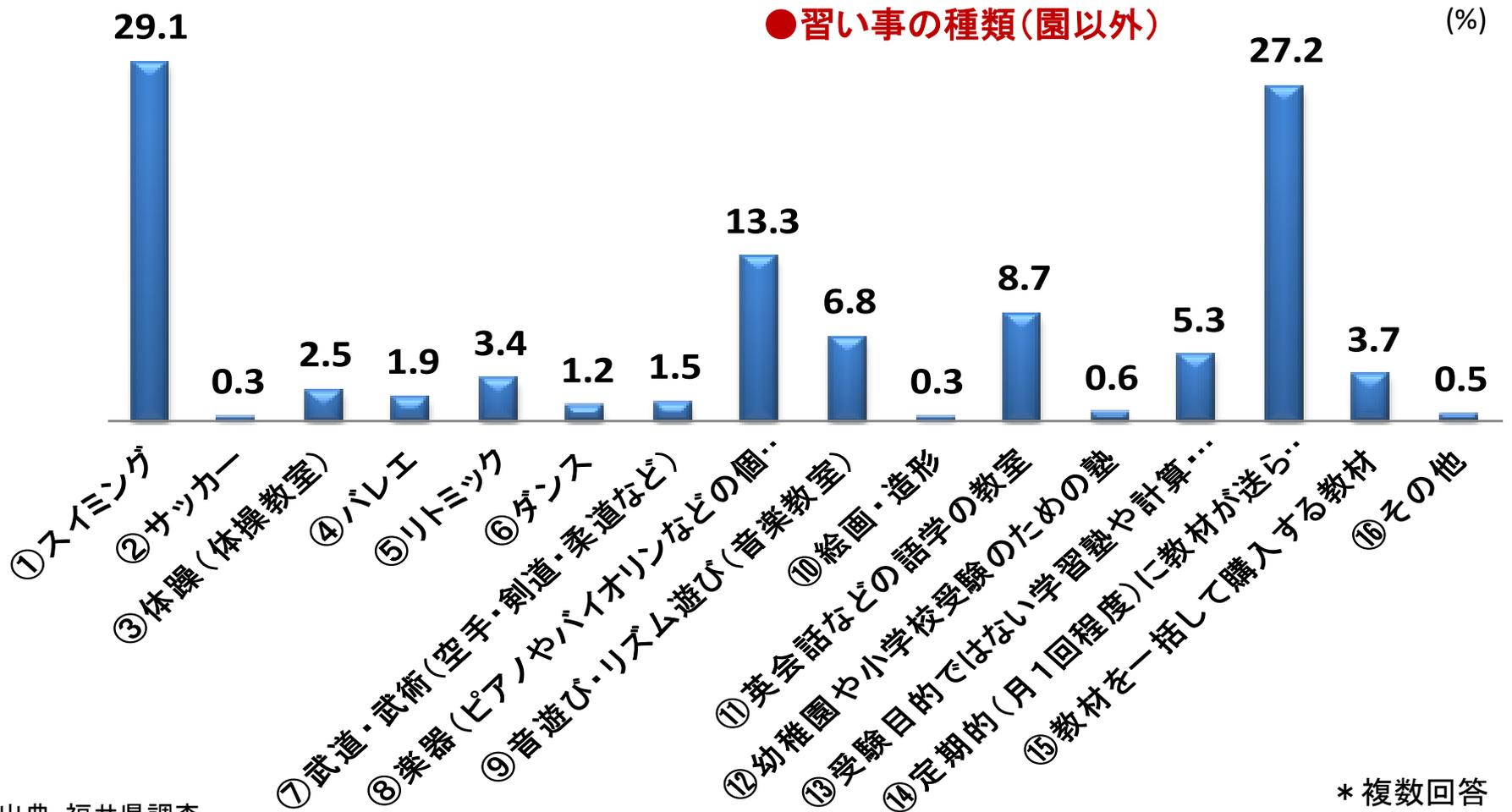
出典: 第4回幼児の生活アンケート

図1-6-2 習い事をしている比率(子どもの年齢別 経年比較)



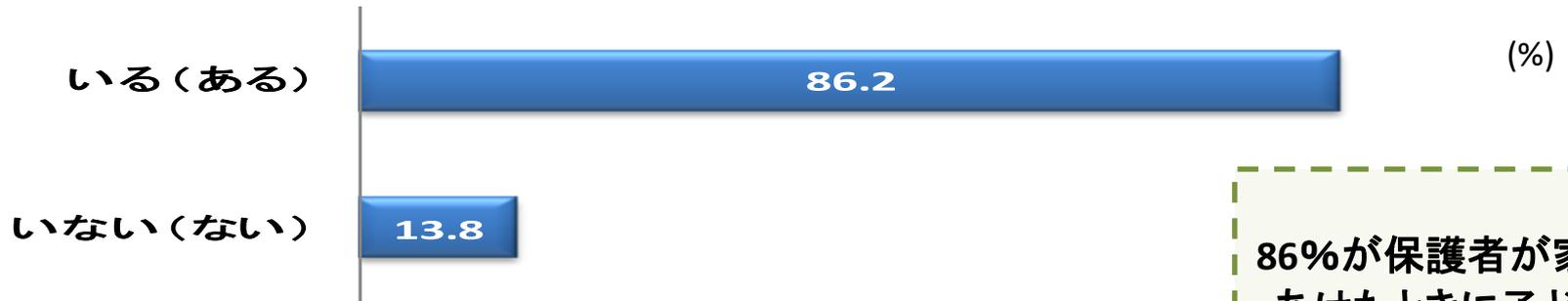
※「している」の%。

※1歳児は、1歳6か月～1歳11か月。

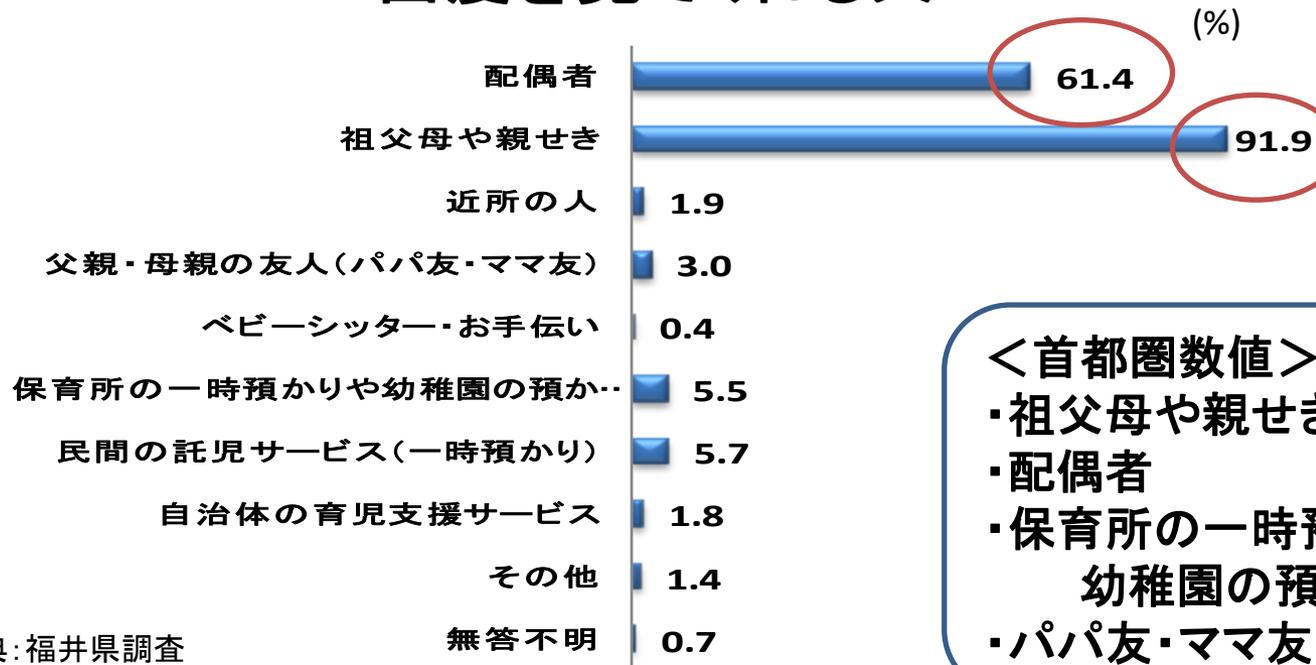


園以外での習い事を種類別に見ると、スイミングが最も多く、次いで定期的に送られてくる通信教材(どちらも3割弱)、楽器(約13%)となっている。その他の習い事は1割未満と割合は少ない。

●保護者が家をあけたときに子どもの面倒を見る人



面倒を見てくれる人



86%が保護者が家をあけたときに子どもの面倒を見る人が「いる」と回答。「祖父母や親せき」が約9割、「配偶者」が約6割を占めている。

<首都圏数値>

- ・祖父母や親せき 78.9%
- ・配偶者 62.3%
- ・保育所の一時預かり、幼稚園の預かり保育 16.0%
- ・パパ友・ママ友 14.1%

出典: 福井県調査

*複数回答

参考

図4-4-1: あなたは平均して何時ごろ仕事から帰宅することが多いですか

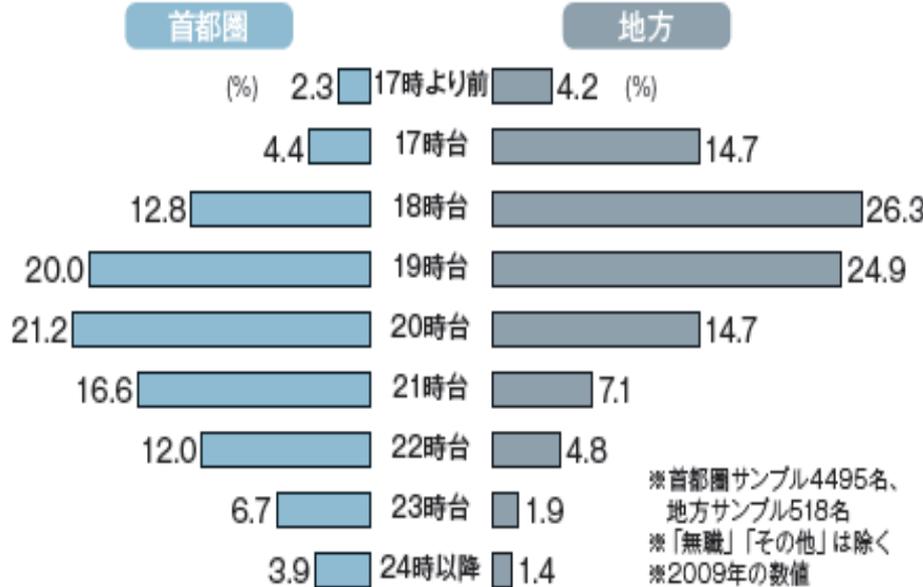
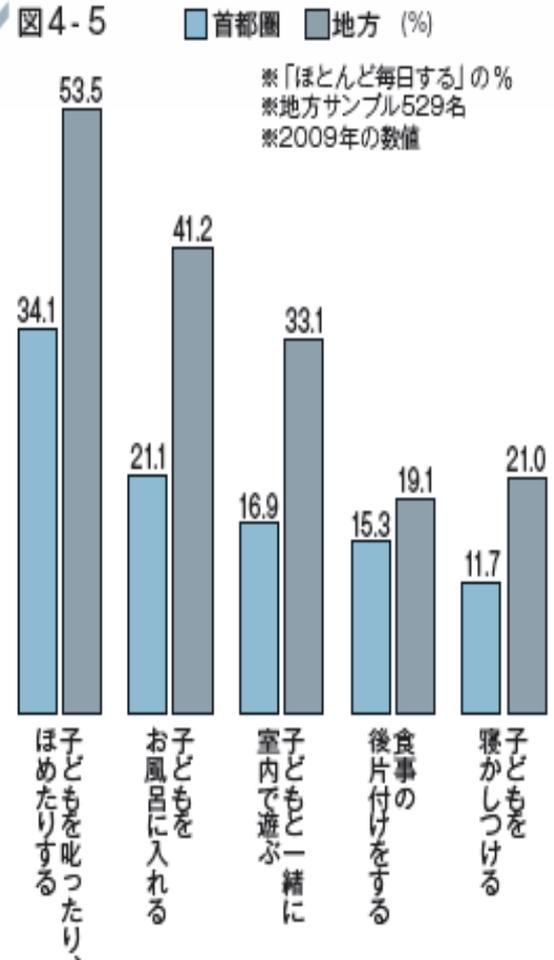


図4-4-2: 通勤時間の平均 (片道)



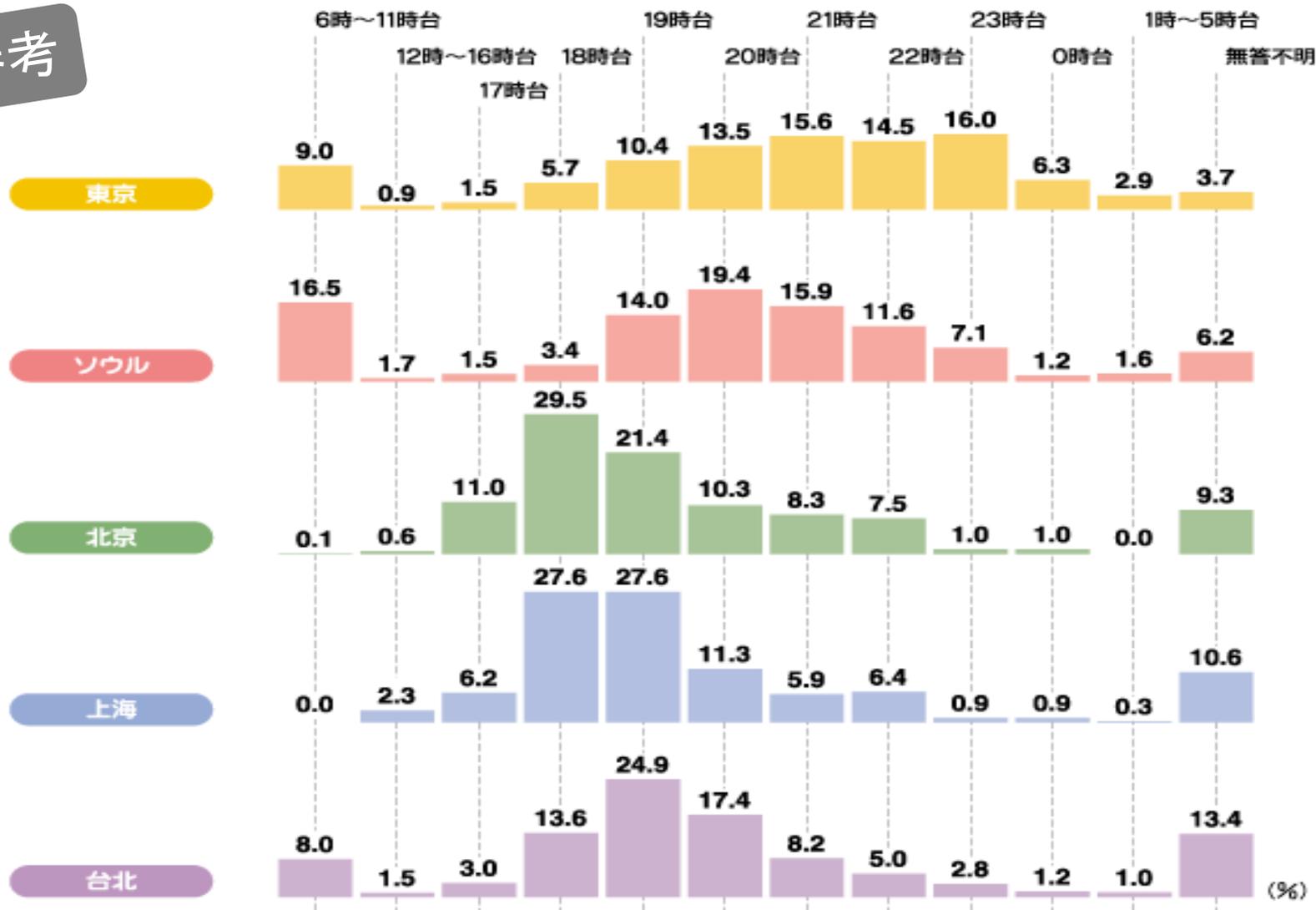
図4-5



出典: 第2回乳幼児の父親についての調査

地方都市のほうが、父親の帰宅時間が早く、子育てへの関わりも多い。

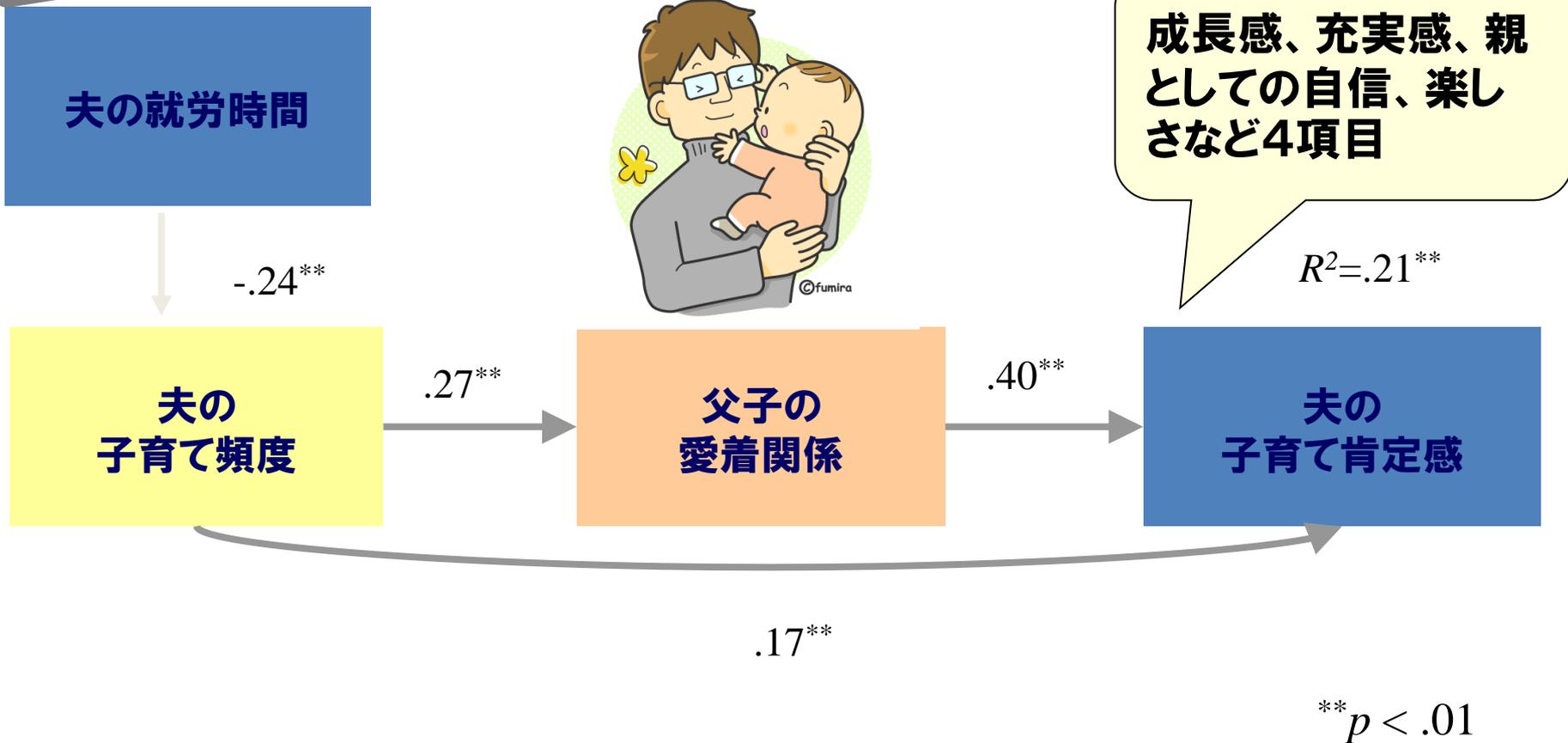
参考



※配偶者がいる母親の回答のみ分析（父親が在宅ワークや無職の人も母数に含んでいる）。

出典：幼児の生活アンケート 東アジア5都市調査

参考

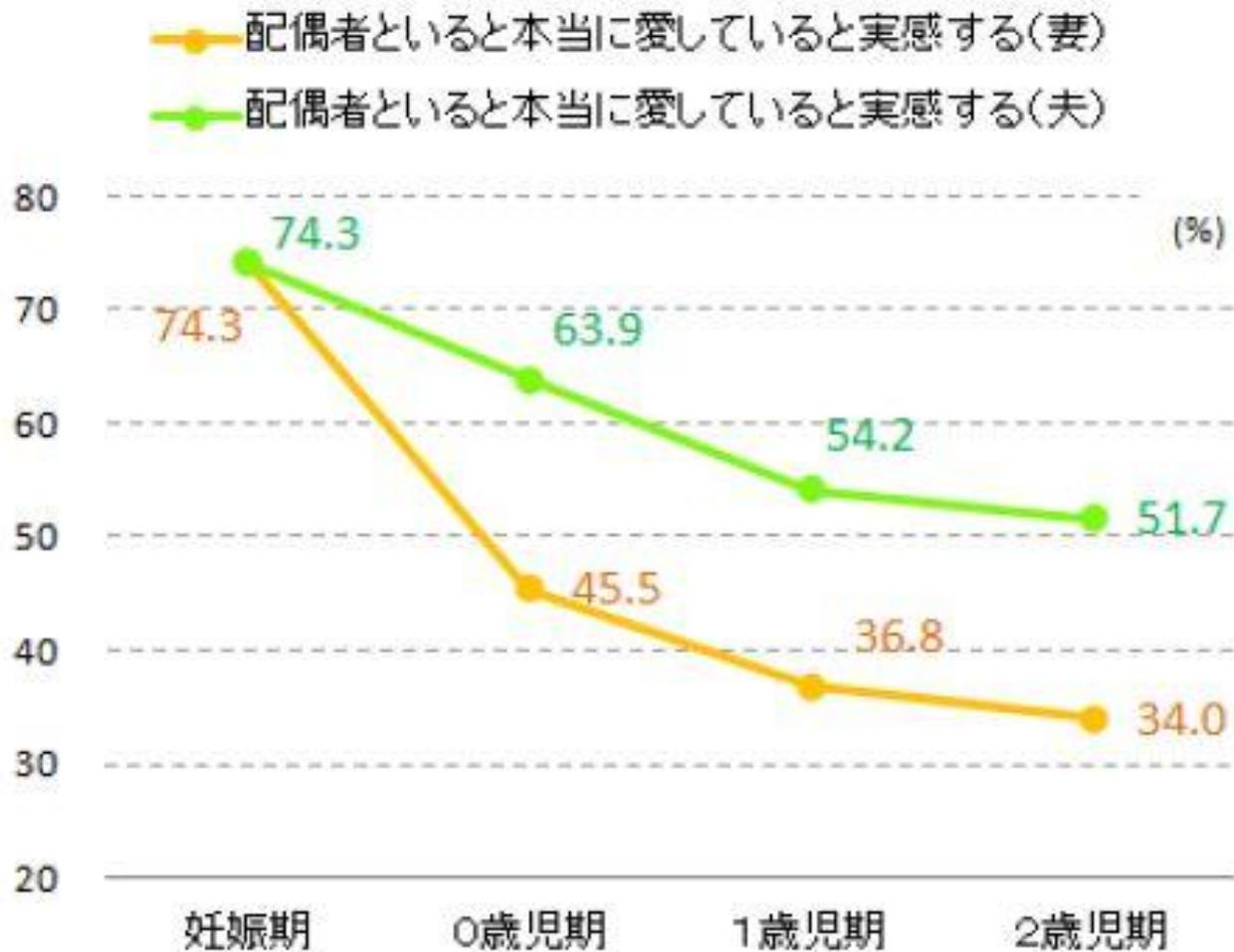


$**p < .01$

★ 夫の子育て関与（Involvement）が父子の愛着関係を深め、
親としての発達を促す可能性が示唆される

参考

愛情関係



一緒に過ごす時間を作ったり、子育てや仕事へのねぎらいを行っている夫婦は愛情が高く保たれる傾向にある

参考

2. あなたと配偶者のことについておうかがいします(妻・夫)。「あてはまる」「ややあてはまる」の合計)。

図4-3
私の配偶者は家族と一緒に過ごす時間を努力して作っている(0歳時期妻)

■妻・愛情高維持群(154人) ■妻・愛情低下群(132人)

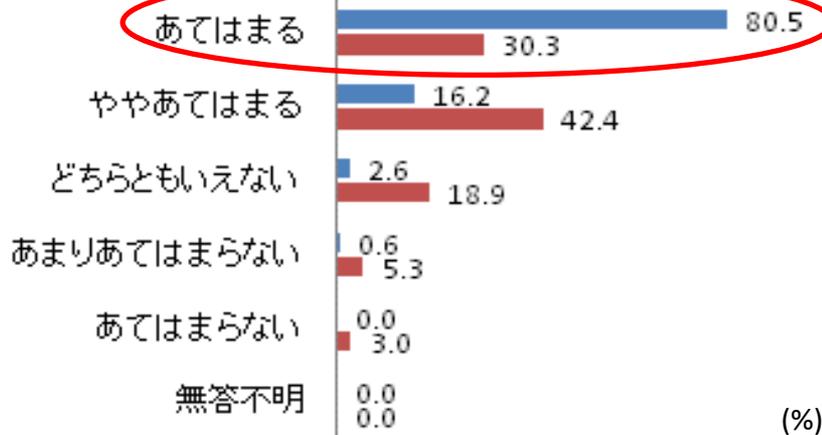
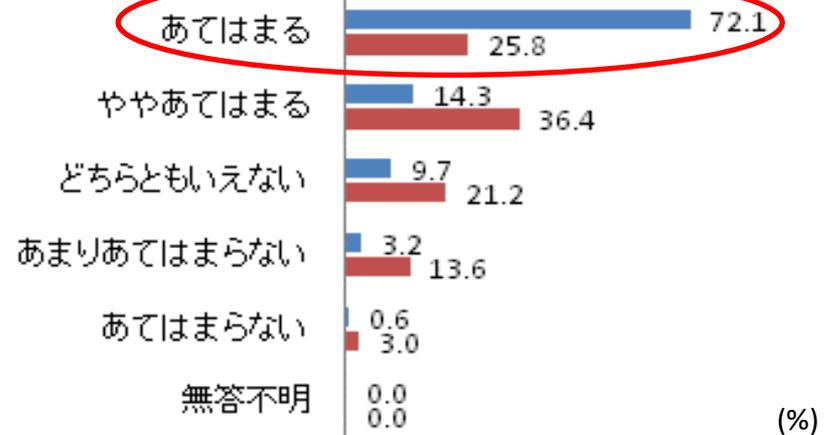


図4-4
私の配偶者は私の仕事、家事、育児をよくねぎらってくれる(0歳時期妻)

■妻・愛情高維持群(154人) ■妻・愛情低下群(132人)



(注: データ解説)

妊娠中に「配偶者といると本当に愛していると実感する」で「あてはまる」と回答した妻(286人)を、0歳児期の回答により2つの群に分類した。

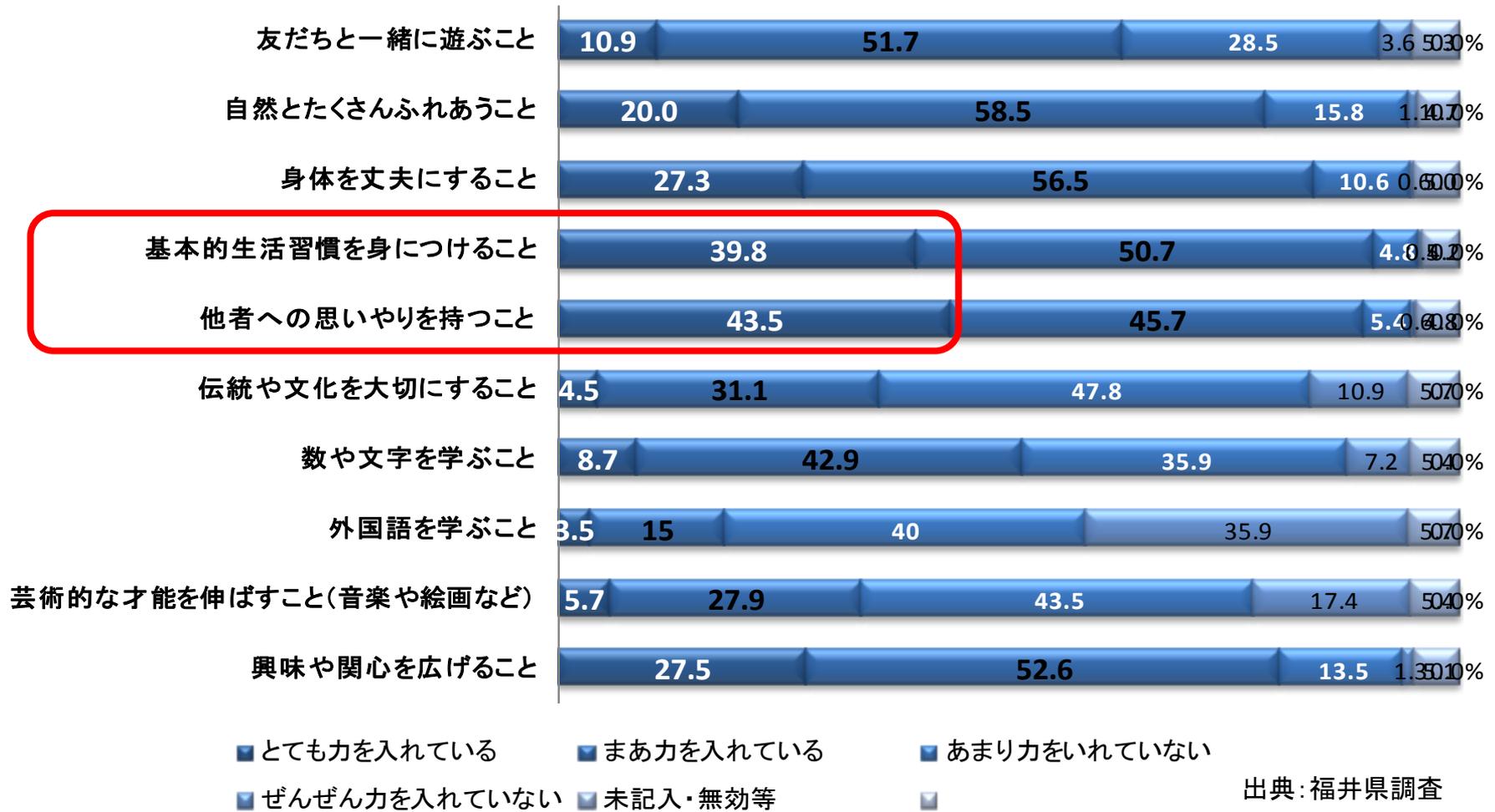
●妻・愛情高維持群(154人)=0歳児期にも「あてはまる」と回答した人。

●妻・愛情低下群(132人)=0歳児期に「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した人

妻の夫に対する愛情は、家事・育児を助け合っている夫婦の方が、高い。
夫から、家事・育児に対する「ねぎらい」がある妻の方が、愛情関係は高い。
⇒たとえ実際に家事・育児を分担できなくても、相手を実際に「ねぎらう」ことは、大切である。

●どのようなことに力を入れて育てているか

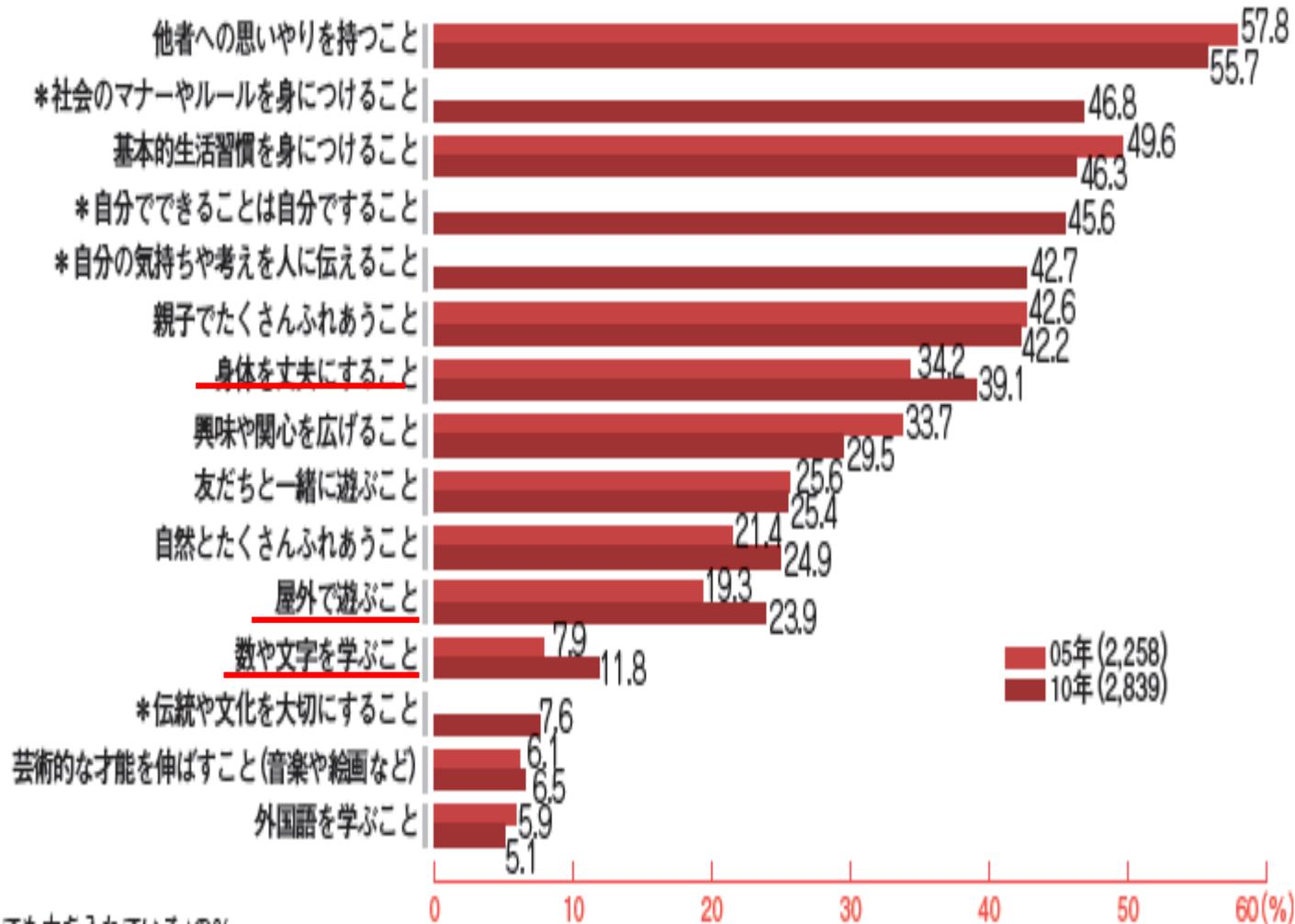
(%)



「基本的な生活習慣」、「他者への思いやりを持つこと」は8割を超える(「とても」+「まあ力を入れている」)。一方、「外国語を学ぶこと」、「芸術的な才能を伸ばすこと」は低い(2~3割)。

参考

2-2-1 子育てで力を入れていること(経年比較)



※「とても力を入れている」の%。

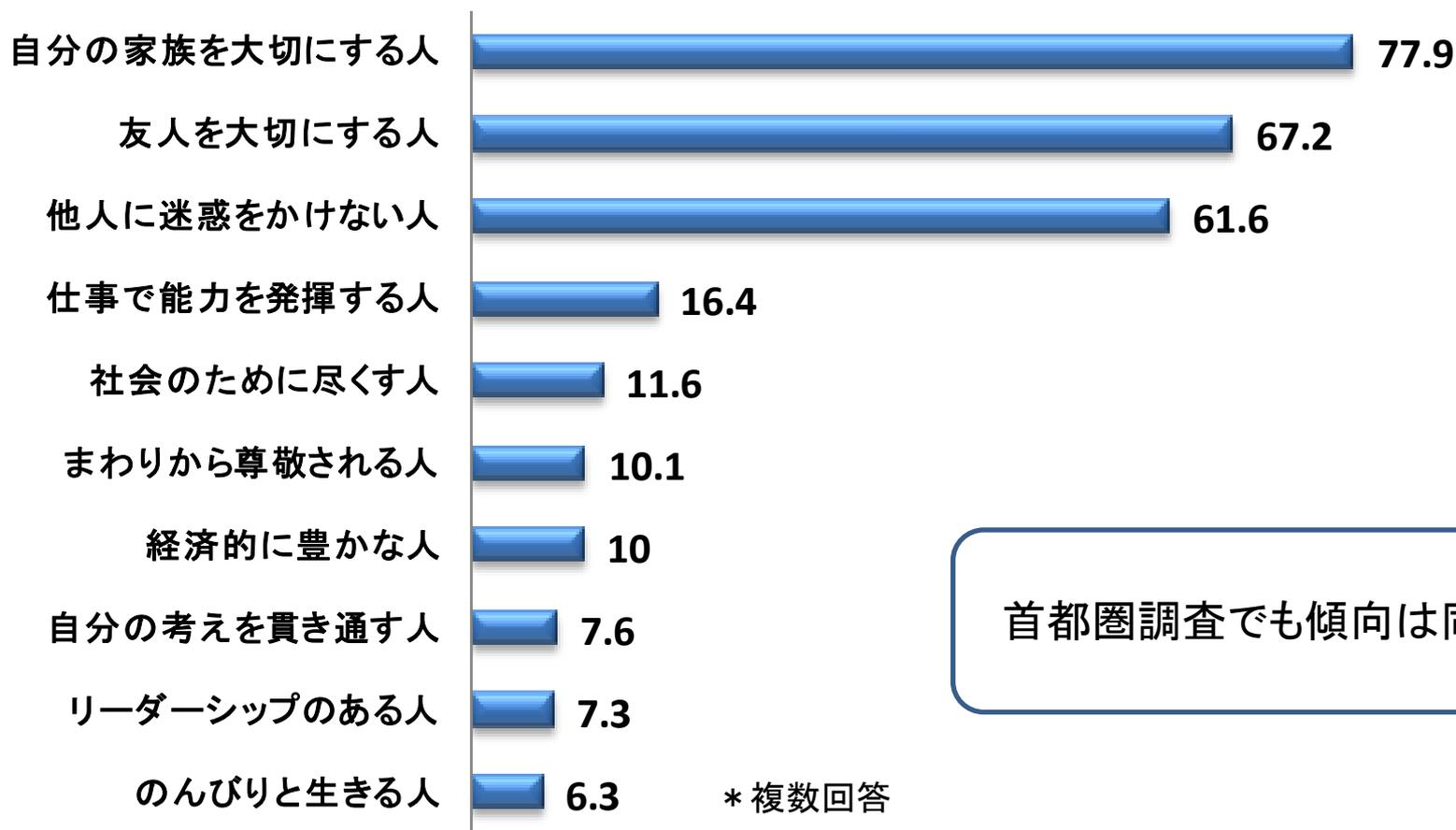
※母親の回答のみ分析。

※「*のある項目」は10年調査のみの項目。

出典：第4回幼児の生活アンケート

● 将来どのような人になってほしいか

(%)



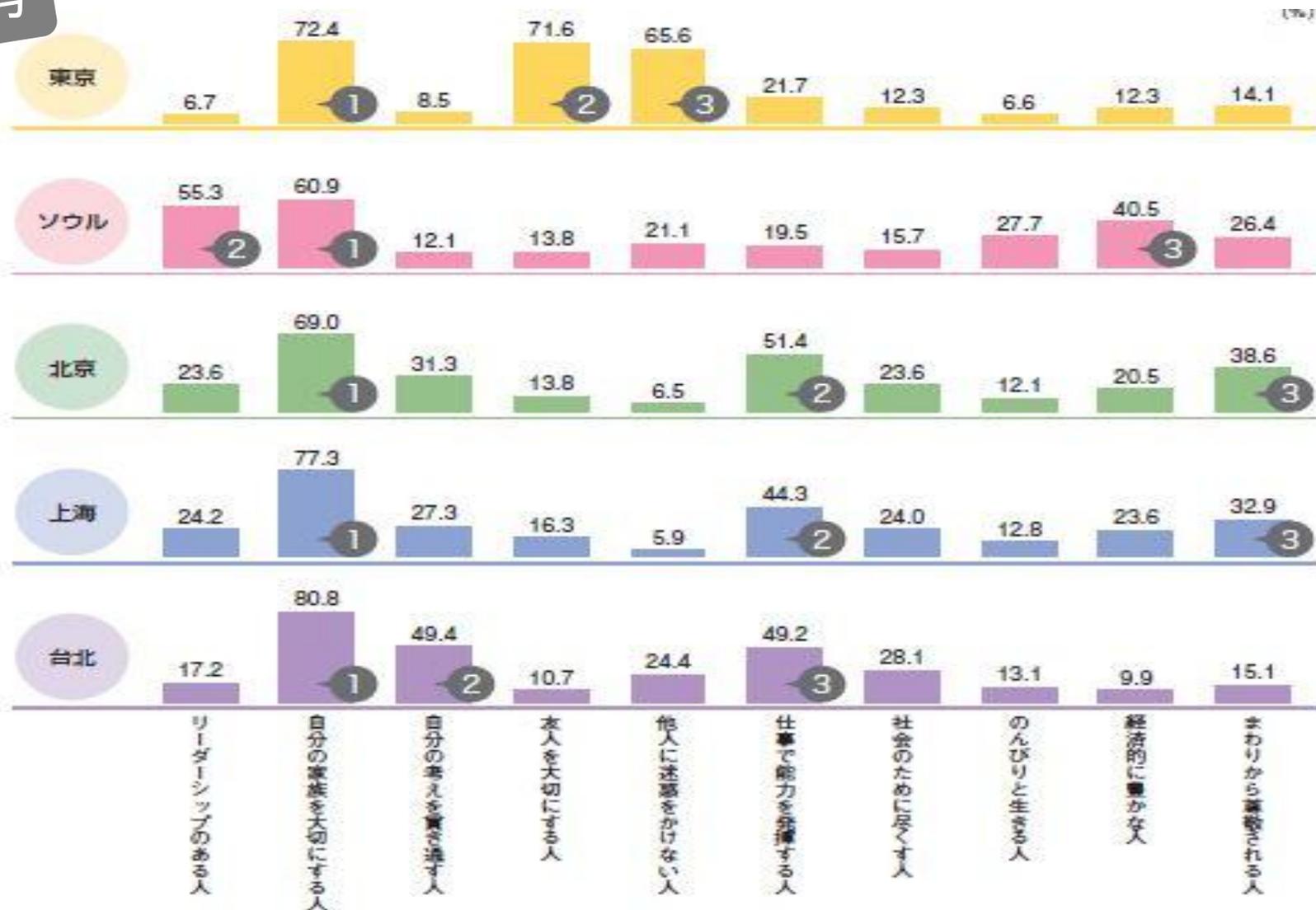
首都圏調査でも傾向は同様

出典：福井県調査

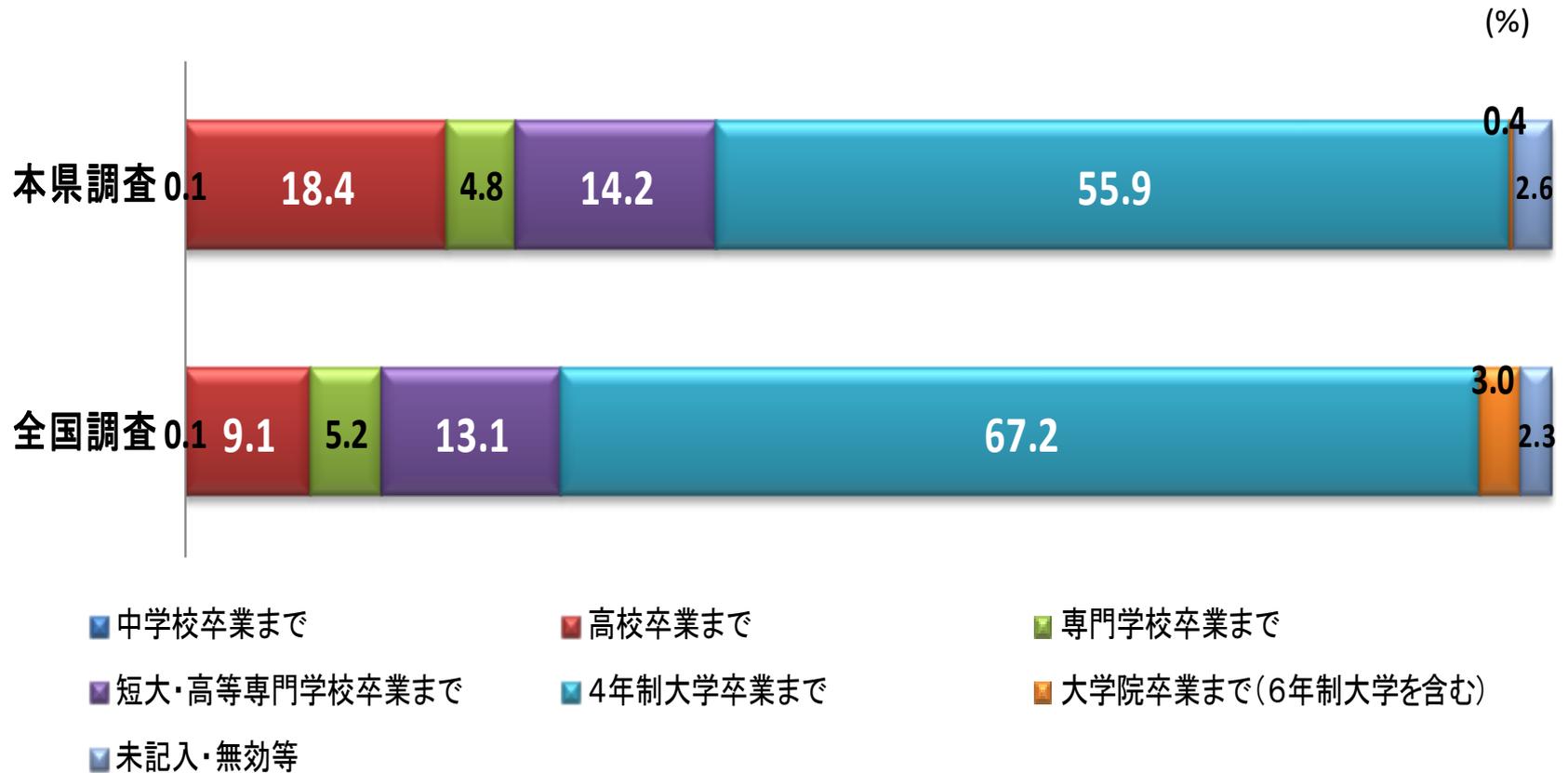
将来どのような人になってほしいかでは「自分の家族を大切にする人」「友人を大切に
にする人」「他人に迷惑をかけない人」が多い。首都圏の傾向と同様である。

参考

● 将来どのような人になってほしいか



出典：幼児の生活アンケート 東アジア5都市調査

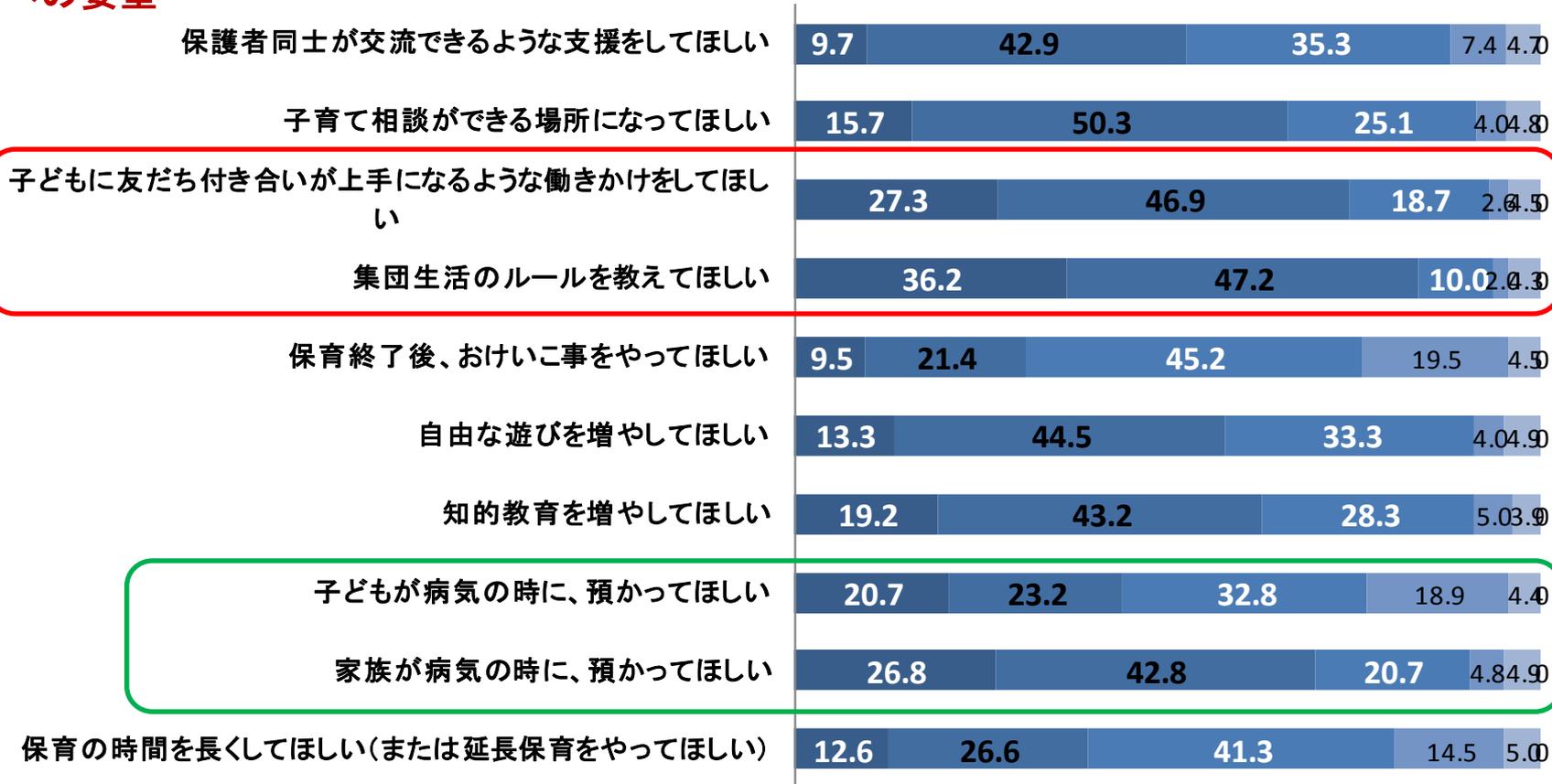


出典：福井県調査

「高校卒業まで」は18.4%、「4年生大学卒業まで」が55.9%。

●園への要望

(%)



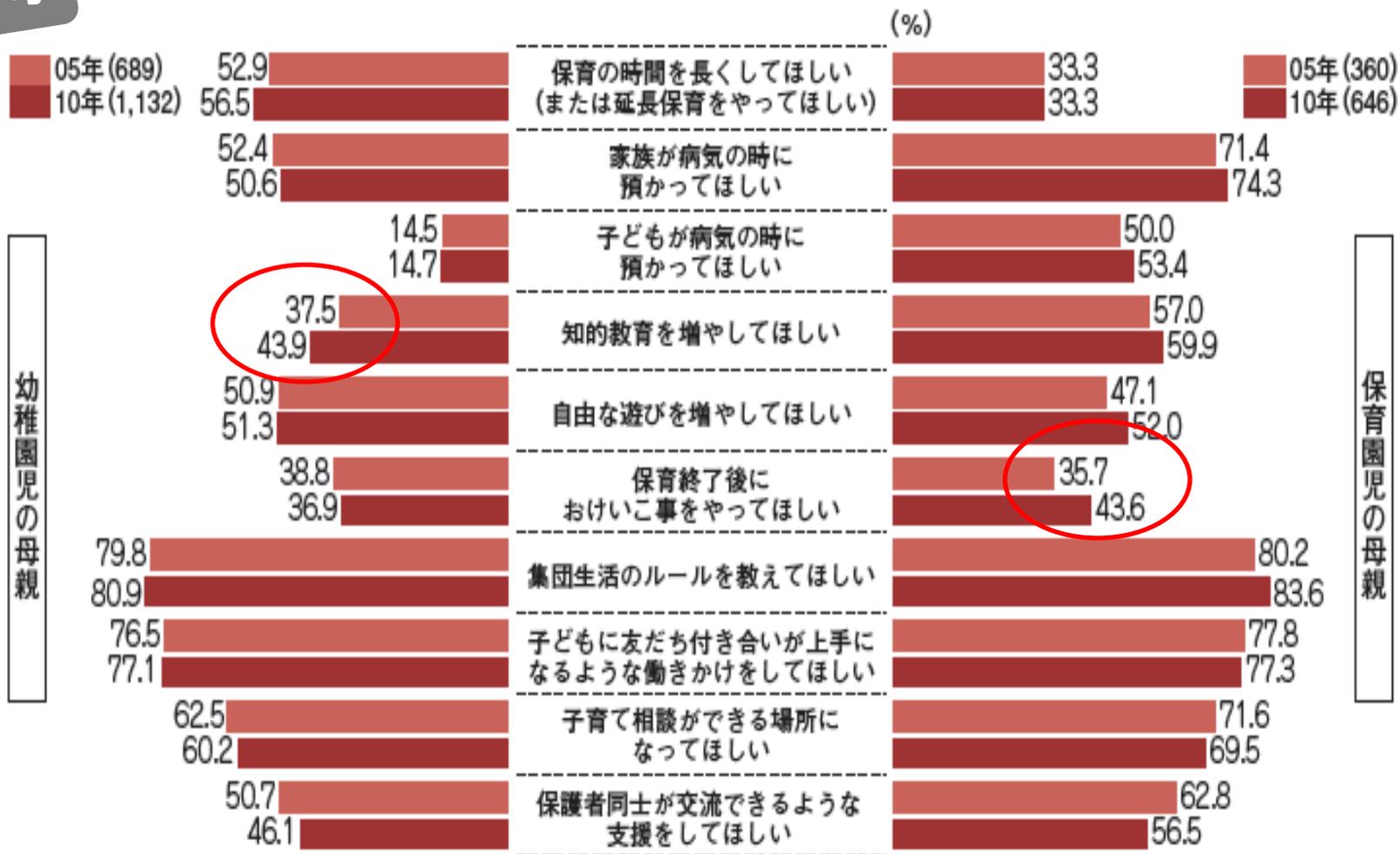
■とてもそう思う ■まあそう思う ■あまりそう思わない ■ぜんぜんそう思わない ■未記入・無効等

出典: 福井県調査

「集団生活のルールを教えてほしい」、「子どもに友達付き合いが上手になるような働きかけをしてほしい」の要望が7~8割である。「家族が病気のときの預かり」は約7割、「子どもが病気のとき」は約4割が要望しており、首都圏よりも多い。

参考

－2 幼稚園・保育園への要望(就園状況別 経年比較)



※「とてもそう思う+まあそう思う」の%。
 ※子どもを園に通わせている人のみ回答。

※母親の回答のみ分析。

出典：第4回幼児の生活アンケート

(参考)

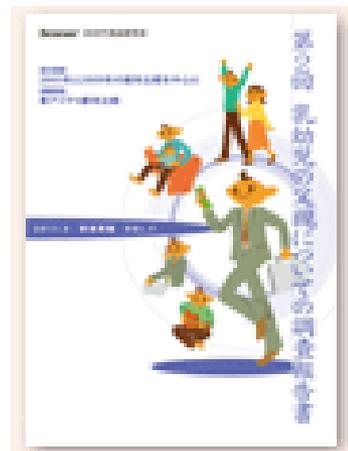
● 幼児の生活・発達にかかわる、ベネッセ次世代育成研究所の 主な発刊物

幼児の生活
アンケート

乳幼児の父親
についての
調査

妊娠出産
子育て
基本調査

乳幼児と
メディア視聴の
調査・研究



すべて、ホームページでダウンロード(無料)できます。発送希望の際はご連絡ください。